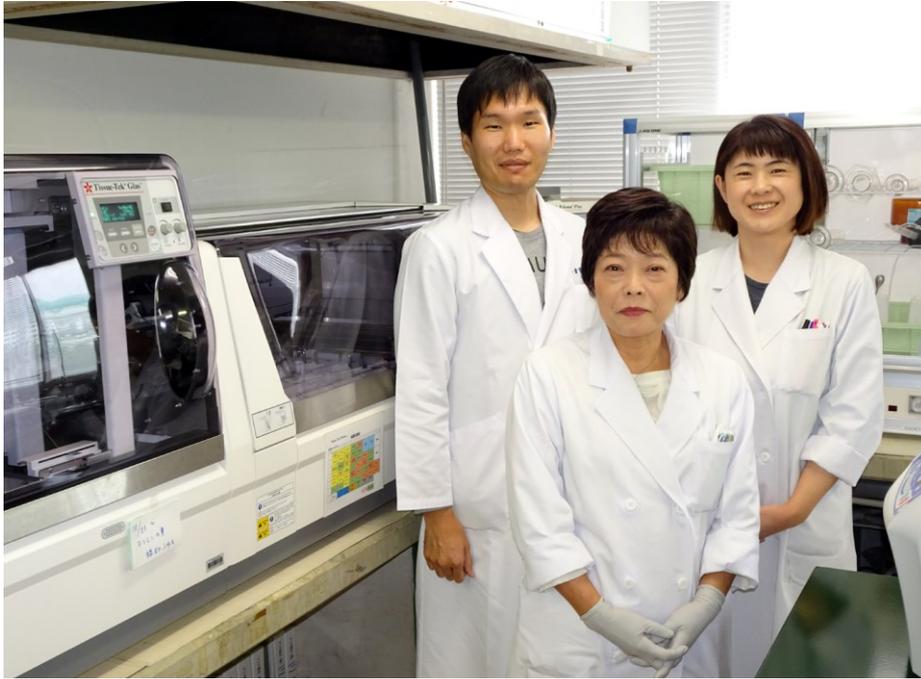


臨床検査課のメンバー紹介

病理室



病理室は現在 男性 1 名・女性 2 名の計 3 名で、病理組織検査と細胞診検査業務を行っています。

病理組織検査は、当検査室で標本作製を行い、判定は産業医科大学第二病理学教室にお願いしています。細胞診検査は、従来法に加え LBC (Liquid Based Cytology) を導入し細胞検査士 3 名で日々判定に励んでいます。

また、細胞診指導医として JR 九州病院の濱田哲夫先生（日本臨床細胞学会細胞診専門医・指導医）に、ご指導いただいております。

平成 15 年に日本臨床細胞学会より施設認定を受け、毎年更新。2 年に 1 度のスライドサーベイにも参加しています。検査センターでは、殆ど経験しない消化器・軟部腫瘍など苦戦しながらの回答です。細胞検査士は 5 年毎の免許更新に 100 単位必要なこともあり、学会やワークショップなどにも積極的に参加し、勉強、勉強です。

病理組織・細胞診検査以外ですが、2 月～4 月は県医師会ネットワークの定点観測施設として、スギ・ヒノキの空中花粉を測定し花粉飛散状況を毎日報告しています。九州各県の情報を国立病院機構福岡病院研修センターで取りまとめ、福岡県メディカルセンターにて福岡県医師会ホームページに掲載されます。（2 月 1 日～4 月 15 日）微力ではありますが、地域医療に貢献できる病理室でありたいと日々奮闘中です。

